

ビジネスQ&A

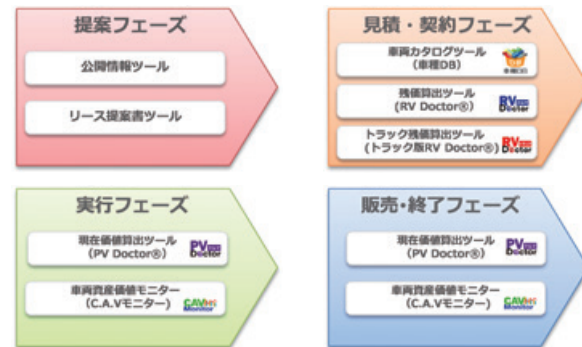
Business Q & A

Q：貴社の統合パッケージ商品について教えてください。

A：



シスろけっとはオートファイナンス事業者に向けて様々な機能をパッケージ化したソリューションです。



提案フェーズでは、オプションにてリース提案書作成ツール～ Lease Proposal Letter ～を提供し、コスト・CO₂排出量比較表・税効果シミュレーション・リースバックシミュレーションなどを記した多面的な提案書を作成可能としています。

見積・契約フェーズでは、車種・グレード・リース条件(期間・走行距離)の選択のみで、残価算出をわずか4ステップ最速1分で行い、全社残価リスクのコントロール・顧客ごとの残価リスクのコントロールを可能とします。また、メーカーを横断した車両スペック比較表作成を容易に実現し、販売期間を問わず車種を選択でき、リース車両と提案車両のスペック比較表を作成可能としています。

実行フェーズでは、中途解約金算定基準やリースアップ車両に対する「新車入替」「再リース」の判断ツールを提供しています。

販売・終了フェーズでは、オプションにて満了案内提案書作成ツール～ End Of Lease ～を提供し、リースアップ通知書が代替促進ツールとなるような帳票を作成可能としています。

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063
(お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法 電子公告により当社ホームページ
(<https://www.slc.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

企業データ

Corporate Data

商 号 システム・ロケーション株式会社
英 文 社 名 System Location Co.,Ltd.
本 店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL <https://www.slc.jp/>

創 業 1992年7月1日
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード2480)
資 本 金 100,000,000円
発行済株式総数 3,570,000株
株 主 数 725名(2024年3月31日現在)
事 業 内 容 自動車関連事業者向け業務支援
グ ル ー プ 従 業 員 数 56名(2024年3月31日現在)

役 員 (2024年6月26日現在)

【取締役】

代表取締役社長 千村 岳彦
常務取締役 内村 裕一
取 締 役 井坂 俊達
取 締 役 落合 綾子
取 締 役(社外) 柳田 一男

【監査役】

常勤監査役(社外) 後藤 清文
監 査 役(社外) 山中 雅雄
監 査 役(社外) 中谷 仁亮

株主通信 第56期 報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の世界経済は、新型コロナによる経済活動の混乱が概ね収束する一方、その反動によるインフレの継続によって、成長基調にありながらも市民が景気の良化を実感できない状況が続きました。また、中国の過度の低迷やウクライナ紛争の長期化、中東情勢の緊迫化等、先行きの不透明感はより強くなっています。

当社関連市場である国内自動車市場は、半導体や部品不足の緩和により自動車メーカーの生産が回復傾向であることから堅調さを保ち、当連結会計年度における新車販売台数（乗用車）は前年度比14.8%増と近年で最も高い増加率となりました。第4四半期である1-3月累計における小型乗用車販売台数の減少（前年同期比31.3%減）を吸収しての台数であり、所謂“コロナ禍”前の2019年3月期の販売台数と比較し6.6%減の水準となり、新車販売環境の正常化への道がようやく見えた1年でした。新車販売事業者にとって、販売台数の一定部分はコロナ禍期間における受注の消化であり、会計年度を通じて所謂「新車の長納期化」に引き続き悩み、新規受注状況について必ずしも順風ではなかったものの、国内自動車市場が最悪期を脱したことは明らかとなりました。

中古車登録台数（乗用車）は、新車販売台数増加の影響を受け流通台数が増加し、当連結会計年度における中古車登録台数は前年度比4.0%増の水準となります。

このような中で、前期に引き続き自動車販売事業者、自動車関連金融事業者など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、新機能追加や新商品開発の推進に取り組みましたが、特に主力商品であるCA Doctorにつき新規取引において当初想定した水準を達成できませんでした。当社グループの売上は、子会社のInspiration株式会社の業績が好調であったこともあり増収となったものの、製品の開発・改良費用の原価増加及び償却負担増加などがグループ利益を圧迫する原因となりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は1,741,682千円（前年度比2.7%増）、営業利益は580,536千円（前年度比3.3%増）、経常利益は620,652千円（前年度比2.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は373,928千円（前年度比1.2%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村 岳彦

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期	増 減
流動資産	1,881	2,204	323
固定資産	2,103	2,173	69
流動負債	250	222	△28
固定負債	548	600	51
純資産	3,185	3,554	369
総資産	3,984	4,377	392

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2023年3月期	構成比	2024年3月期	構成比
売上高	1,696	100.0%	1,741	100.0%
売上総利益	1,396	82.3%	1,367	78.5%
営業利益	561	33.1%	580	33.3%
経常利益	604	35.6%	620	35.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	369	21.8%	373	21.5%

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

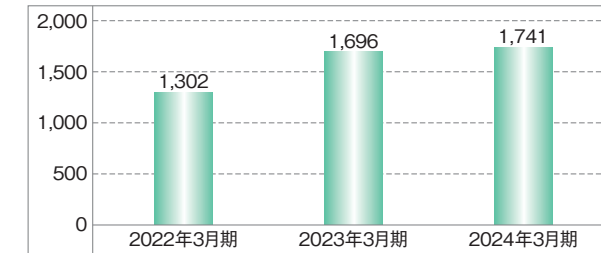
	2023年3月期	2024年3月期	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,977	1,659	△318
営業活動キャッシュ・フロー	596	541	△54
投資活動キャッシュ・フロー	△737	△90	646
財務活動キャッシュ・フロー	△176	△133	42
現金及び現金同等物の期末残高	1,659	1,976	317

財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

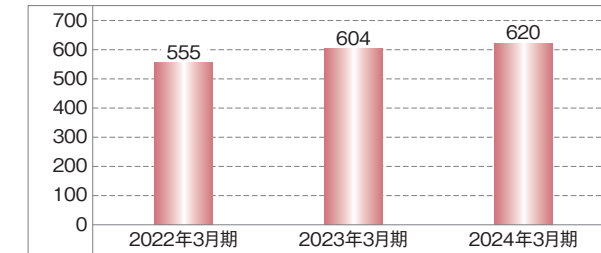
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）

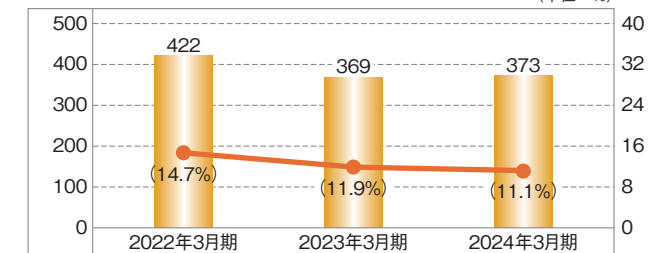


親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）

株主資本利益率 (ROE)

（単位：%）



総資産／純資産

総資産 純資産

（単位：百万円）

